

アミド型水溶性化合物拡販

星光PMC系 年内到新ライン

星光PMCの完全子会社、KJケミカルズ（東京都中央区、丸山学士社長）は、水系や無溶剤系の塗料やインキなどの主成分原料であるアクリルアミド誘導体モノマー「Kohshylmer」シリーズ製品を拡販する。生産能力拡大と品質改善、生産性向上のため、2022年から八代工場（熊本県八代市）で総額20億円強の設備投資を行っている。24年中には増強したラインが稼働する予定だ。

星光PMCは水溶性「カー」系。主なシリーズのアクリルアミド誘導 製品として紫外線（UV）硬化樹脂の反応性モノマーの世界的メ



希釈剤向けのアクリロイルモルホリン（ACMO）、水系塗料の架橋剤や粘接着剤向けのダイアセト

ンアクリルアミド（DAA）を手がける。一方、低毒性でありながら溶解性が高い日本、欧州市場で先行して展開しており「今後、販売地域の拡大と多様な産業分野への展開が期待できる」とみている。

性を持つアミド型機能性溶剤「Kohshylvent」関連は農薬や洗浄剤用途でニーズが高まっており、本格的な生産増強投資を決定した。製法の効率化を含む設備対応を進めている。

固体や液体を溶かす溶剤にはアルコールなどの有機溶剤があるが、一般的に揮発性が高く体内への吸収などの懸念がある。同社のアミド型機能性溶剤は環境・安全性の高く、日本、欧州市場で先行して展開しており「今後、販売地域の拡大と多様な産業分野への展開が期待できる」とみている。